

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			身体を動かすため専用の訓練室と落ち着いて過ごせるためのスペースを分け、児童が活動を選択しながら過ごせるだけのスペース
	2	職員の配置数は適切であるか	○			一人一人の児童に対してきめ細やかな支援をおこなうために規定の職員数より多くの職員を配置している。また同性での支援が必要になる場面も多くあるため、男女どちらの指導員も配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設内と玄関先に段差あり。施設の外に出る際には職員と必ず手をつなぎ安全を確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日施設MTGを実施し、課題検討等で随時意見を交換している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施、連絡帳や送迎時、モニタリングの際に意見交換を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内に掲示しており、インターネットでの公開もH30年6月頃開始予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点では第三者による外部評価を行っていないが、今後外部からの意見や評価も取り入れていきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修に加えて外部研修にも参加をし、職員の資質の向上を図っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングの際には時間を多く取り、利用者からのニーズを聞き取り、一人一人に合わせた計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		見学時に事業所独自のアセスメントシートを使用し、利用者へ聞き取りを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日プログラムの演習時間を設け、プログラムトレーナーを中心に意見交換や改善をしていくことで、プログラムの質の向上を図っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			現在運動中心で毎回異なるプログラムを行っているが、今後はさらに幅広い分野のプログラムを取り入れていく予定。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇の際には普段の放課後では時間が短くなかなか出来ない体験やプログラムを通して、課題に取り組めるようにより幅広い支援内容の設定をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団での活動を中心に計画を立てているが、子どもの状況に応じて個別・集団活動と分けて計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日施設MTGを実施し、その日の流れや役割の確認を実施している。また、行事等の際には別途タイムスケジュール表を作成し、各職員に配布している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日誌にその日の児童の様子を毎日記載することで全職員で共有をし、それをもとに利用の様子を振り返り、気づいた課題等があれば意見交換を実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録記載担当の職員と記載後に確認をする担当職員を設定し、記録の誤記載を防止している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に1度モニタリングを実施して計画に対する評価を行い、見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本的日常生活動作や自立生活をするための活動の他に季節感のあるイベントを通して、たくさんのお友達と共有、共感を共にしながら、感受性を育むための支援を実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席をするようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校と電話や手紙による下校時刻の確認を実施している。また、その日学校で様子の変化があった際には担任の先生より送迎時に引継ぎを受けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	現在該当利用者はいないが、今後医療的ケアが必要な子どもがご利用になる際には主治医との連絡体制を構築していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育園や幼稚園での様子や特別な対応の有無など情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	現在までに該当利用者はいないが、今後移行が必要となる際には利用者と相談の上、事業所間での支援内容等の情報の提供を考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関職員の方の講演や研修を受講し、施設での支援に活かしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		過去に数回ほど放課後児童クラブの児童との交流はおこなったが、今後交流する機会を増やして行きたいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			所属する地域の連絡協議会等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			モニタリングに加えて必要時には送迎時や連絡帳にて保護者と意見交換をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			モニタリング時や必要時には電話で家庭での取り組みや関わり方について助言をしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定・重要事項を事業所内に掲示しており、重要事項の第9項に利用者負担について記載し、契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			モニタリング時や必要時には電話で日常の子育ての困りごと等に対して相談を受け、助言をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現時点では保護者会等は開催していないが、今後保護者参加型の行事を開催していきたいと考えている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に関する窓口担当者や苦情解決責任者を設置し、重要事項の第17項に記載し、契約時に説明をしている。また、苦情を受け付けた時には指定の様式に記録をするようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	定期ではないが、夏休みなど長期休校日にの行事予定や内容については発行している。今後はプログラムの予定など定期的に公開して行けるよう考えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		重要事項の第19項に個人情報の取り扱いについて記載し、利用者には個人情報の保護規定と合わせて契約時に説明をし、同意を得ている。職員に対しても個人情報の取り扱いに関して研修を行い、退職後の個人情報の取り扱いに関しても誓約書に同意を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者やご家庭の事情に合わせた伝え方や方法を考え行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在事業所の行事に地域住民の招待等は行ってはいない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各種マニュアルを策定して施設内に掲示しているが、保護者への周知が十分ではなく、アンケートでも存在を知らないのご意見があったため、今後は保護者への周知に力をいれたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		重要事項の第14項に非常災害時の対応について記載し、契約時に年に2回以上の防災・防犯訓練をしている旨を説明しているが、実際の実施日等の周知が不足しており、アンケートでも実施していないのご意見もあったため、今後は保護者へ実施した旨の周知にも力を入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年職員に対して虐待に関する研修を実施している。また、重要事項の第15項に虐待の防止のための措置に関する事項について記載をし、利用者には契約時に説明を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約書第6条の5項にて身体拘束に関する事項を記載し、契約時に利用者に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	フェースシートにてアレルギーの有無を記載して頂き、職員間で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例があった際には指定の様式に記録をし、専用のファイルにて保存・共有している。